



～京都大学ホームカミングデー～

# 京都大学技術士会 第23回講演会

日時：2026年11月7日(土) 15:00～17:00

主催：京都大学技術士会

会場：京都大学吉田キャンパス 法経済学本館2階 第八教室（下記地図参照）

## \* プログラム

15:00～15:10 開会

15:10～15:30 京都大学技術士会の活動報告

15:30～16:40 講演会

## 「6G時代の社会を駆動するプラットフォームとプラットフォーム学」

講師：京都大学大学院 情報学研究科 教授 原田 博司 様

16:40～17:00 閉会・写真撮影

## 原田 博司 先生 プロフィール

1995年 郵政省通信総合研究所（現 独立行政法人情報通信研究機構(NICT)）入所。  
以来デジタル信号処理を用いた移動通信技術、ソフトウェア無線技術、コグニ  
ティブ無線技術、ワイヤレススマートメータリングの研究、開発、標準化に従事。  
米国ソフトウェア無線（SDR）フォーラム理事、米国Wi-SUNアライアンス共同  
創業者、理事会議長、及びダイナミックスペクトルアライアンス理事等のグロー  
バルアライアンスの要職および米国IEEE Dyspan standards committee(1900)議長、  
IEEE802.15.4g、15.4m、15.4aa、15.4ad、IEEE1900.4、IEEE2857等各標準化委員会  
副議長等の研究/標準化活動に従事。2014年より京都大学大学院情報学研究科教授。  
2025年から京都大学理事補、プラットフォーム学卓越大学院プログラムコーディネ  
ータとしても活動。紫綬褒章（2026年）、電子情報通信学会フェロー（2009年）  
、IEEEフェロー（2025年）、電子情報通信学会業績賞（2006年、2018年）、文部科学大臣表彰 科学技術賞  
及び産学官連携功労者表彰 総務大臣賞（2014年）、前島密賞(2019年)、志田林三郎賞（2017年）、IEEE標  
準化作業部会賞（5回）、ARIB電波功績賞（4回）受賞。



## 講演内容：

さまざまなアプリケーションが共存する共通基盤としてのプラット  
フォームは、社会のさまざまな分野に普及し、新たな価値を創出してい  
る。一方、その定義や構造、構成要素は必ずしも明確ではなく、十分に  
体系化されているとは言い難い。また、新たなプラットフォームの創出  
は通信技術の革新と密接に関係してきたが、その関係性も十分に整理さ  
れていない。現在の第5世代移動通信システム（5G）は、2030年頃か  
ら第6世代（6G）へ移行すると想定されており、新たなプラットフォーム  
創出に向け、これまでの発展を整理し、将来へつなげることが重要で  
ある。本講演では、プラットフォームの定義、展開されるセクター、構  
成要素、携帯電話システムとの関係および今後の展開について述べる。  
さらに、京都大学で取り組む、新たなプラットフォームを創出・構築す  
るための学術「プラットフォーム学」と、それを学修する「プラット  
フォーム学卓越大学院」の概要と取り組みを紹介する。

参加人数：会場参加：80名

オンライン：Zoom先着90名、YouTube人数制限なし

参 加 費：会場参加2000円（学生1000円）、オンライン参加無料、  
懇親会4000円（高校生以下2000円）

・会場参加費は当日、受付にてお支払いください。

申込み方法：京都大学技術士会ホームページ「講演会・交流会のご案内」

<http://ku-pe.net/entry6.html#kouen2>

## 開催場所：京都大学吉田キャンパス



法経済学本館  
2階第八教室



正門